

# 地 方 か ら の 切 実 な る 声

和歌山県市長会

和歌山県町村会

- 和歌山県は大都市（例えば東京都）に比較して道路特定財源の一世帯当たり負担額は約2倍、家計に占める道路特定財源の負担率は約2.8倍となっている。
- 和歌山県内の唯一の村である北山村についてみると、同負担額は約3倍、同負担率は約6.9倍となっている。
- にもかかわらず、和歌山県内における道路は近畿自動車道をはじめ広域幹線道路から生活道路に至る道路網の整備は遅々として進まず道路改良率は50.6パーセントと全国ワースト2位である。  
とりわけ北山村をはじめとする山間僻地の地域は鉄道等の公共交通機関もなく移動は自動車に頼らざるをえない状況である。
- このようなことから判断すれば、道路特定財源を一般財源化して他の目的に使用することはどうも容認できるものでないと言わざるを得ない。
- 道路特定財源の原則に基づき全額を真に必要な道路の整備に充当するとともに、現行の暫定税率を是非とも維持し、地方の道路整備促進の強い要望に応じて頂くことを強く要望するものである。

◇地方の住民はより多くのガソリン税を負担している



出典：国土交通省資料

◇地方の住民はより多くのガソリン税を負担している

